

【関係法令】

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領 等

【社会・地域の要請】

「生きる力」の育成

- ・知識を教養として実践する力
- ・豊かな情操や道徳心
- ・柔軟な人間性、健やかな心身
- ・コロナウイルス感染症対応

【中央教育審議会答申】

- ・令和の日本型学校教育の構築

【東京都教育ビジョン】（第4次）

情報化や国際化など急速かつ激しく変化するこれからの社会を主体的・創造的に生き抜いていく子供を育てる。

子供の「知」「徳」「体」を育み、社会の持続的な発展に貢献する力を培う。学校、家庭、地域・社会が相互に連携・協力して子供を育てる。

【東京都教育施策大綱】（R3.3.30.）

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育を目指して

【大田区教育大綱】

家庭・地域・学校が連携した生きる力の形成をめざして

【大田区教育目標】

- ・学ぶ喜び
- ・基礎学力の定着
- ・豊かな情操と公共の精神
- ・健やかな身体

【おおた教育ビジョン】

豊かな人間性をはぐくみ、未来を創る力を育てる

《本校の教育目標》

人間尊重の精神に基づき、自主性と創造性に富み、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を目指す

- 正しく ○ やさしく ○ 強く

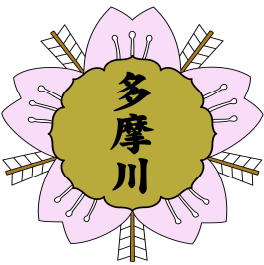
《本校の教育課題》

- 基本的な生活習慣や学習習慣の定着
- 学力の定着と個に応じた指導の充実
- 家庭・地域との連携の強化
- 新たな課題への対応

《目指す学校像》

力のある学校

～ 子どもの『力』を育てる学校づくり ～



＜未来を創る力＞ ※「おおたの未来づくり科（R7-）」を視野に入れて

変化に主体的に対応し、未来を創る児童を育てる学校づくり

- 発達段階に合わせた「コミュニケーション能力」の育成
- 問題を自力で解決する学習や体験による、「論理的・科学的な思考力」の育成
- ICT機器を有効に活用できる「情報活用能力」の育成（タブレットの活用）

＜学びの力＞

自分の考えをもち、表現できる児童を育てる授業づくり

- 校内研究の充実
- OJTの日常化
- 教育環境の充実

☆授業改善を推進し、教師の指導力の向上を図る

- ・「教師は授業で勝負する」～質の高い授業を創造していく。
- ・校内研究を中心に、教員の学習指導力を高め、児童が主体的で協力的な学び合いを通して、深い学びを実感できる授業を提供する。
- ・校内OJTとして生活・学習の両面から日常的に指導技術を共有し、指導の工夫改善に努める。
- ・自己の強みを確立させ、専門性の高い教師を育成する。
- ・一人一人の子どもの確かな学力を付ける教育を推進する。
- ・保護者・地域、そして何より子どもたちから信頼される教師を育成する。
- ・「教育は人なり」プロの教師としての自覚をもつ教師を育成する。
- ・体罰禁止、個人情報保護など、サービス事故防止を徹底する。

＜心の力＞

互いに助け合い、豊かな心をもつ児童を育てる環境づくり

- 仲良く助け合う子ども
- 話を聞いてくれる先生
- 多摩川小の子はみんなの子

☆互いに助け合い、豊かな心をもつ児童を育成する

- ・児童が落ち着いて生活できる学校、安心して学べる学校をつくる。
- ・道徳教育・人権教育を充実させる。
- ・一人一人の児童の個性を伸ばす学級（専科・サポートルーム）経営を実践する。
- ・いじめ、不登校ゼロを目指し、相談体制を強化する。
- ・「多摩川小の子はみんなの子」という考えに立ち、全教職員で児童理解と指導に努める。

＜体の力＞

健康づくりに取り組む児童を育てる日常づくり

- 体力向上「一学級一実践」
- 食育の推進
- 早寝・早起き・朝ごはん

☆体力の向上、健康の維持・増進を図る

- ・すべての児童の体力向上に向けて、体育部を中心に学校全体で組織的に取り組む。
- ・「一校一取組」および「一学級一実践」で、児童の体力の向上や達成感がはっきりと結果として表れるようにする。
- ・「早寝・早起き・朝ごはん」を実践し、正しい生活習慣を身に付ける。
- ・各学級で給食指導を中心に、食育に取り組む。

《目指す児童像》  
自分の言葉で伝え、認め合いながらチャレンジする子

＜保護者・地域の力＞ ※地域運営学校（CS）への移行を視野に入れて

保護者・地域と協力・連携し、教育の成果を高める学校づくり

- 保護者との連携
- たまサポ・たまパパとの連携
- 地域教育連絡協議会との連携

☆学校・家庭・地域が一体となった「共育」を推進する

- ・地域と共にある学校として、より一層学校を開き、保護者や地域の方々と協働する機会を設け、学校と家庭、地域が一体になった学校づくりを進める。
- ・PTAや学校支援地域本部（たまサポ）、おやじの会（たまパパ）、地域教育連絡協議会を中心に、保護者や地域の声を積極的に取り入れ、保護者や地域との連携を一層図っていく。
- ・地域コーディネーターと連携し、特色ある教育活動を推進すると共に、PTA・地域・ボランティアの方々との連携を深める。
- ・学校便り・学年便り・学級便り等の各種通信、メール・HPなどで、積極的に本校の教育活動について、保護者や地域に発信する。